



夏が厳しい桐生の夏。気温の上昇とともに食欲が落ちてしまいがちなこの時期におすすめしたいのが、ネバネバ食材をたっぷり使った「粘り勝ち丼」です。

主役は、夏に旬を迎えるオクラ。さやの中に並ぶ白い種と、表面の細かなう毛が特徴的な野菜で、ゆでて刻むと独特の粘り気が出るのが魅力です。独特のぬめり成分は水溶性食物繊維のペクチンやムチンによるもので、腸内環境を整え、胃の粘膜を保護す

保存の際は乾燥を防ぐためにラップやポリ袋に入れて冷蔵庫の野菜室へ。2、3日以内に使い切るのが理想です。冷凍のカットオクラを使えば、包丁いらずで、さらに簡単です。

この「粘り勝ち丼」には、他にも納豆、山芋、バクチ等といつたネバネバ仲間が勢ぞろい。それが栄養の宝庫が早いのも特徴です。

そこで、納豆は良質なタンパク質とビタミンB群

【プロフィル】大野治美さんは広島県出身。大学卒業後、病院や福祉施設の管理栄養士として勤務後、栄養士・管理栄養士養成校や医薬基盤・健康・栄養研究所の特別研究員を経て、2021年から現職。博士(学術)。管理栄養士。健康運動指導士。好きな食べ物はプリンとマンゴー。

暑さが厳しい桐生の夏。気温の上昇とともに食欲が落ちてしまいがちなこの時期におすすめしたいのが、ネバネバ食材をたっぷり使った「粘り勝ち丼」です。

夏。気温の上昇とともに食欲が落ちてしまいがちなこの時期におすすめしたいのが、ネバネバ食材をたっぷり使った「粘り勝ち丼」です。

オクラのネバネバで夏を乗り切る

担当・桐生大学医療保健学部栄養学科講師 大野治美

食と栄養

桐生大学栄養学科

情報定期便

No.060

保健・福祉

群馬県の感染症サーベイランス (8月4~10日)

疾病名	3週前報告数	2週前報告数	1週前報告数	今週の報告数
インフルエンザ	5	4	14	5
新型コロナ感染症	77	125	158	177
RSウイルス感染症	12	15	21	18
咽頭結膜熱	12	17	12	10
A群溶連菌咽頭炎	34	31	33	27
感染性胃腸炎	240	168	232	178
水痘	10	4	5	8
手足口病	14	6	5	14
伝染性紅斑	95	65	92	90
突発性発疹	12	12	12	13
ヘルパンギーナ	26	21	44	28
流行性耳下腺炎	2	0	1	3
急性出血性結膜炎	0	0	0	0
流行性角結膜炎	28	29	22	17
細菌性結膜炎	0	0	0	0
無菌性結膜炎	0	0	0	1
マイコプラズマ肺炎	22	20	28	26
クラミジア肺炎	0	0	0	0
急性呼吸器感染症(CARI)	3747	3235	3628	3802
風疹	0	0	0	0
麻疹	0	0	0	0
百日咳	196	186	199	210

*急性呼吸器感染症は風邪のこと

はやってる病気は?

新型コロナ、流行に注意
暑さには陰りは見えませんが、夜中の虫の声はわずかずつでも強まっていくようになります。季節の「選手交代」はひそやかに進んでいます。
桐生地区では新型コロナウイルス感染症の患者報告数が増えて、定点医療機関

百日咳や伝染性紅斑の患者報告数も依然多い状況が続いています。せきエチケットや外出後の手洗いを励行してください。

(18日、桐生市医師会)

「粘り勝ち丼」でおいしく元気に

「粘り勝ち丼」でおいしく元気に

（8月4~10日）

（8月4~10日）